

平成 22 年医学部入試情報

医学部が 3 年連続で定員増！

国公立 61 大学あわせて 360 人増、過去最多を更新

旺文社 教育情報センター 平成 22 年 2 月

医学部（医学科）の入学定員が 3 年連続で増えることになった。文部科学省から昨年 7 月に増員計画が、12 月に申請（届出）大学と増加数が発表され、このほど最終認可された。国公立あわせて 360 人増となる、今回の定員増の概要をお知らせする。

◆国公立 48 大学で 290 人増、私立 13 大学で 70 人増

医学部医学科（以下、医学部）の入学定員（以下、定員）は昭和 56～59 年の 8,280 人をピークに徐々に削減され、平成 15～19 年には 7,625 人となった。ところが近年になり、医師不足や地域・診療科による偏在が深刻化したため、国は定員増へ方針を転換。医学部の総定員は 20 年に 168 人増加、21 年には 77 大学で 693 人増加し、8,486 人と過去最大規模にまで達した。

さらに 21 年 7 月、文部科学省（以下、文科省）から、医学部の総定員を 22 年度に期限付き（31 年までの 10 年間）で最大 370 人程度増やす計画が発表された。12 月 7 日、定員増を申請（公立は届出）した大学と増加数が発表され、12 月末に最終認可された結果、医学部の総定員数（編入学を含む）は 21 年より 360 人増加し、8,846 人と過去最多を更新した。国立 42 大学で 265 人、公立 6 大学で 25 人、私立 13 大学で 70 人増加。また、今回の定員増は、(1) 都道府県の医師確保を目的とした奨学金を活用した「地域枠」として、(2) 基礎医学等の研究医養成（複数大学等で連携）のため、(3) 歯学部の定員振替、の 3 つの枠組みに分かれるが、(1) は 55 大学で 313 人増、(2) は 11 大学で 17 人増、(3) は 6 大学で 30 人増となる。

◆最多は長崎大 - 医(医)と岩手医科大 - 医の 15 人増

国立大医学部の全部が申請、公立大医学部も 8 校中 6 校が届出を行う一方で、私立大医学部からの申請は 29 校中 13 校と半数に満たず、対照的な結果となった。ちなみに、このたび医学部の定員増を行わなかったのは、公立が札幌医科大・横浜市立大の 2 校、私立が自治医科大・昭和大・東海大・東京慈恵会医科大・東京女子医科大・東邦大・日本大・金沢医科大・愛知医科大・藤田保健衛生大・大阪医科大・関西医科大・兵庫医科大・川崎医科大・産業医科大・福岡大の 16 校であった。この他、文科省所管外の防衛医科大学校が募集人員を 80 人→85 人に増やし、すでに入試を実施した。

大学別にみると、1 校あたり最も増えたのが長崎大・岩手医科大の 15 人増で、全体には「5～7 人増」が多い。また、従来は医学科の定員の最大数であった「120 人」を超えたのは、弘前大・山形大・新潟大・山梨大・三重大・岩手医科大（以上、125 人）と旭川医科大・秋田大（以上、122 人）の計 8 校であった。

◆国公立大医学部ではおもに前期とセンターを課す推薦・AOを増員

各医学部の定員増加数と枠組み別の内訳については、p. 3以降の一覧表に掲載した。さらに、選抜方法ごとの募集人員の変更については、備考欄に募集要項・ホームページ等で確認できた変更点等を掲載したので、参考にしてほしい。

定員が増えた分の内訳（増員する入試方法）については、国公立大ではおもに前期日程かセンター試験（以下、セ試）を課す推薦・AO入試に、私立大でも従来型の一般入試に上乘せし、その中に地域枠（出願資格を地元出身者に限定）や地域医療枠（卒業後の一定期間の地元勤務を条件に奨学金を支給）を設定するケースが多い。

国公立大医学部の募集人員は、入学者選抜要項（7月発表）の時点での変更も含めると、前期日程が183人、セ試を課す推薦・AO入試も147人増える一方で、後期日程は38人減。ただし、旭川医科大・山形大・千葉大・東京医科歯科大・山梨大・名古屋大・佐賀大の7校で、後期の募集人員を増やしたのが注目される。また、私立大医学部の募集人員（定員増発表前の変更も含む）は、一般入試（セ試利用を含む）が25人増え、推薦入試（指定校を含む）も43人増加した。

◆「地域枠」出願者は奨学金制度の内容を必ず再確認！

地域枠・地域医療枠の設定は、6年間の学費負担に不安を持つ受験生にとって朗報だが、各大学と連携した都道府県によって、奨学金制度の内容が異なることに注意したい。

月額10～20万円程度を支給（貸与）するケースが多数派なので、国公立大医学部の入学者には十分だが、初年度納付金の平均が約830万円（20年度：文科省調査）にもなる私立大医学部の場合は、あまり負担軽減に結びつかないという実情もある。ただし、さらに支給（貸与）額の多いケースや、大学側が不足分を補填するケースもあるので、地域枠・地域医療枠に出願した人は、地域医療に貢献する確固たる意志と志望理由はもちろんのこと、奨学金制度の内容についても、しっかり再確認しておいてほしい。

◆2010年度の医学部医学科の定員増と募集人員の変更(2010年1月中旬現在)

大学-学部(学科)	2010年の定員増(編入学含む)	定員増の内訳				備考(②県外枠の内訳/③研究医養成の連携先/④歯学部 部の定員減/2010年入試の募集人員の変更<1月中旬現在 の判明分。太字は今回の定員増による変更>、など)
		①地域枠 (県内)	②地域枠 (県外)	③研究医 養成	④歯学部 から振替	
北海道大-医(医)	105人→112人				7人	前期85人→92人
旭川医科大-医(医)	112人→122人	10人				前期40人→35人→40人、後期17人→22人、AO北海道地域枠(セ 試課す)35人→40人
弘前大-医(医)	120人→125人	5人				前期60人→65人(青森県定着枠10人→15人)
東北大-医(医)	110人→119人	7人		2人		③研究医養成=秋田大・山形大と連携/前期95人→104人
秋田大-医(医)	115人→122人	7人				前期45人→52人、セ試免除推薦(県内枠)5人を廃止、秋田県地 域枠推薦(セ試課す)10人→15人
山形大-医(医)	120人→125人	5人				後期15人→20人
筑波大-医学類	108人→110人	2人				前期58人→60人
群馬大-医(医)	110人→117人	7人				前期40人→47人(地域医療枠7人を新設)、後期30人中に地域医 療枠(3人)を新設
千葉大-医	110人→115人	5人				前期90人→94人、後期15人→16人
東京大-医(医)	108人→110人			2人		③研究医養成=群馬大・千葉大・山梨大と連携/理Ⅲ(前期)98 人→100人
東京医科歯科大-医 (医)	90人→100人		4人	1人	5人	②県外枠=茨城2人・長野2人/③研究医養成=日本医科大と連 携/④11年度から、歯学部歯学科の定員減と学士編入学(5人) 廃止を予定/前期75人→80人、後期10人→15人
新潟大-医(医)	120人→125人	5人				前期85人→90人(地域枠5人を新設)
富山大-医(医)	105人→110人	5人				前期65人→60人→65人、後期22人→20人、地域枠推薦(セ試課 す)8人→15人
金沢大-医学類	110人→117人	5人	2人			②県外枠=富山/セ試課す推薦25人→32人(特別枠5人→12 人)
福井大-医(医)	110人→115人	5人				前期55人→60人
山梨大-医(医)	120人→125人	5人				後期65人→70人
信州大-医(医)	110人→113人	3人				後期45人→43人→45人、県内枠推薦(セ試課す)10人→12人 →13人
岐阜大-医(医)	100人→107人	7人				前期30人→32人、後期40人→35人、地域枠推薦(セ試課す)15人 →20人→25人
浜松医科大-医(医)	110人→120人	10人				前期65人→75人
名古屋大-医(医)	108人→112人	2人		2人		③研究医養成=総合研究大学院大・愛知医科大と連携/後期3 人→5人、セ試課す推薦10人→12人
三重大-医(医)	120人→125人	5人				前期75人→70人→75人、地域枠推薦(セ試課す)25人→30人
滋賀医科大-医(医)	110人→115人	5人				前期73人→78人
京都大-医(医)	105人→107人			2人		③研究医養成=福井大・理化学研究所と連携/前期105人→107 人
大阪大-医(医)	105人→110人			2人	3人	③研究医養成=岡山大・徳島大・大阪市立大と連携/前期80人 →85人
神戸大-医(医)	105人→108人	3人				地域特別枠推薦(セ試課す)3人を新規実施

大学・学部(学科)	2010年の定員増(編入学含む)	定員増の内訳				備考(②県外枠の内訳/③研究医養成の連携先/④歯学部 の定員減/2010年入試の募集人員の変更<1月中旬現在 の判明分。太字は今回の定員増による変更、など)
		①地域枠 (県内)	②地域枠 (県外)	③研究医 養成	④歯学部 から振替	
鳥取大-医(医)	90人→103人	8人	5人			②県外枠=兵庫2人・島根2人・山口1人/前期40人→53人(地域 枠13人を新設)
島根大-医(医)	105人→110人	5人				前期60人→55人→60人、セ試験す推薦(一般枠)20人→25人
岡山大-医(医)	110人→117人	2人	5人			②県外枠=兵庫2人・鳥取1人・広島2人/前期90人→97人(地域 枠コース5人→12人)
広島大-医(医)	110人→117人	5人	2人			②県外枠=岡山/前期75人→70人→77人(ふるさと枠7人を新 設)、AOふるさと枠(セ試験す)5人→10人
山口大-医(医)	105人→114人	7人	1人	1人		②県外枠=鳥取/③研究医養成=鳥取大・広島大・高知大・徳島 大と連携/前期60人→50人→59人、セ試験す推薦(一般枠5人 →10人・県内枠10人→15人)。
徳島大-医(医)	105人→112人	7人				地域枠推薦(セ試験す)10人→17人(うち、地域特別枠5人→12 人)
香川大-医(医)	105人→112人	5人	2人			②県外枠=愛媛/前期50人→57人(地域医療推進枠7人を新 設)
愛媛大-医(医)	105人→112人	5人	2人			②県外枠=香川/前期40人→47人、後期30人→25人、学校推薦 20人→25人(セ試験す)
高知大-医(医)	105人→112人	7人				前期55人→62人
九州大-医(医)	105人→110人				5人	前期90人→95人
佐賀大-医(医)	100人→106人	5人	1人			②県外枠=長崎/前期53人→50人→55人、後期20人→21人、地 域枠推薦8人→11人(セ試験除)
長崎大-医(医)	105人→120人	5人	4人	1人	5人	②県外枠=佐賀2人・宮崎2人/③研究医養成=福岡大・久留米 大と連携/前期85人→70人→85人、地域枠推薦(セ試験す)20人 を新規実施、AO地域医療枠(5人:セ試験す)を廃止
熊本大-医(医)	110人→115人	5人				地域枠推薦(セ試験す)5人を新規実施
大分大-医(医)	105人→110人	5人				前期40人→65人→70人、後期30人とセ試験す推薦25人を廃止、A O30人を導入(地域枠推薦5人→AO地域枠5人)
宮崎大-医(医)	105人→110人	5人				前期50人→55人
鹿児島大-医(医)	105人→115人	10人				地域枠推薦(セ試験す)7人→17人
琉球大-医(医)	107人→112人	5人				前期70人→75人(地域枠5人を新設)
◇札幌医科大-医	110人(変更なし)					
◇福島県立医科大-医	100人→105人	5人				セ試験す推薦30人→35人(県内枠23人→21人、県内特別枠7人 を導入)
◇横浜市立大-医(医)	90人(変更なし)					
◇名古屋市立大-医	92人→95人	3人				地域枠推薦(セ試験す)2人→5人
◇京都府立医科大-医 (医)	105人→107人	2人				地域枠推薦(セ試験す)5人→7人
◇大阪市立大-医(医)	90人→92人	2人				前期90人→92人(地域医療枠10人・大阪府指定医療枠2人を新 設)
◇奈良県立医科大-医 (医)	105人→113人	8人				後期(一般枠20人→15人、地域枠15人→10人)、地域医療枠推薦 (セ試験す)5人→13人、地域枠推薦(セ試験す)10人を導入
◇和歌山県立医科大- 医(医)	95人→100人	5人				後期10人を廃止、前期<一般枠>54人→64人、県内地域医療枠推 薦(セ試験す)5人→10人
防衛医科大学校	80人→85人					一般入試80人→85人(入試実施済、2/12合格発表)

大学-学部(学科)	2010年の定員増(編入学含む)	定員増の内訳				備考(②県外枠の内訳/③研究医養成の連携先/④歯学部 の定員減/2010年入試の募集人員の変更<1月中旬現在 の判明分。太字は今回の定員増による変更>、など)
		①地域枠 (県内)	②地域枠 (県外)	③研究医 養成	④歯学部 から振替	
☆岩手医科大-医	110人→125人	10人			5人	④歯学部は定員減(80人→70人)/ 歯学部卒業者が対象の学士 入学枠(5人:3年次編入)を新設。一般入試75人→85人
☆自治医科大-医	113人(変更なし)					10年新入生から、入学時に修学資金を40万円追加貸与
☆獨協医科大-医	110人→115人	5人				地域特別枠推薦10人を新規実施、一般入試(セ試利用含む)80人 →70人→75人(栃木県地域枠5人を新設)
☆埼玉医科大-医	110人→115人	5人				一般前期60人→63人、一般後期40人→42人
☆北里大-医	110人→112人		2人			②県外枠=山梨/一般入試85人→80人→82人(山梨県地域枠2 人を新設)、指定校推薦25人→30人
☆杏林大-医	105人→111人	5人	1人			②県外枠=茨城/一般79人→83人(東京都地域枠3人・茨城県 地域枠1人を新設)、セ試利用25人→27人(東京都地域枠2人を 新設)
☆慶應義塾大-医	110人→112人			2人		③研究医養成=埼玉医科大・理化学研究所と連携/ 一般入試66 人→68人
☆順天堂大-医	110人→119人	5人	3人	1人		②県外枠=千葉1人・新潟2人/③研究医養成=新潟大と連携/ 一般入試80人→82人、東京都地域枠(一般・セ試併用)5人→10 人、新潟県地域枠(一般・セ試併用)2人を新規実施
☆昭和大-医	110人(変更なし)					
☆帝京大-医	110人→112人		1人	1人		②県外枠=福島/③研究医養成=筑波大・京大・ハーバード大 と連携/ 一般入試100人→102人
☆東海大-医	110人(変更なし)					
☆東京医科大-医	*113人→115人		2人			②県外枠=茨城/茨城県地域枠特別推薦(3人)を新規実施、 一 般入試110人→112人(茨城県地域枠2人を新設)
☆東京慈恵会医科大- 医(医)	105人(変更なし)					一般入試に地方優先枠を新設。東京・埼玉・千葉・神奈川以外の 43道府県を5地域に区分、各1人が優先的に合格
☆東京女子医科大-医	110人(変更なし)					
☆東邦大-医(医)	110人(変更なし)					
☆日本大-医	*120人(変更なし)					
☆日本医科大-医	110人→112人		2人			②県外枠=福島1人・千葉1人/ 一般入試110人→112人
☆聖マリアンナ医科大- 医	110人→115人	5人				一般入試95人→100人
☆金沢医科大-医	110人(変更なし)					
☆愛知医科大-医	105人(変更なし)					一般入試70人→65人、セ試利用入試5人を新規実施
☆藤田保健衛生大-医	110人(変更なし)					
☆大阪医科大-医	110人(変更なし)					
☆関西医科大-医	110人(変更なし)					
☆近畿大-医	95人→105人	3人	7人			②県外枠=奈良2人・和歌山5人/ 一般前期61人→71人
☆兵庫医科大-医	110人(変更なし)					地域指定推薦5人とセ試利用入試10人を新規実施。一般入試95人 →80人

大学・学部(学科)	2010年の定員増(編入学含む)	定員増の内訳				備考(②県外枠の内訳/③研究医養成の連携先/④歯学部 の定員減/2010年入試の募集人員の変更<1月中旬現在 の判明分。太字は今回の定員増による変更>、など)
		①地域枠 (県内)	②地域枠 (県外)	③研究医 養成	④歯学部 から振替	
☆川崎医科大-医	110人(変更なし)					岡山県地域枠推薦5人を新設。一般入試70人→60人、中国・四国 枠推薦10人→15人
☆久留米大-医(医)	110人→115人	5人				一般入試100人→105人(福岡県特別枠5人を新設) 、一般推薦10 人→地域枠推薦10人
☆産業医科大-医	*105人(変更なし)					
☆福岡大-医(医)	110人(変更なし)					地域枠推薦10人を新規実施。一般入試80人→75人、公募推薦30 人→25人

(注1)「定員増の内訳」の地域枠については、①県内=当該校が所在する都道府県との連携、②県外=その他の都道府県との連携、を示す。

(注2)◇は公立、☆は私立。定員増は原則として編入学定員を含む。東京医科大・日本大・産業医科大の「定員増」欄の*は、募集人員の増加を示す。

(注3)備考欄のうち、②は地域枠(県外)の連携先の都道府県、③は研究医養成の連携先の大学等を示す。

(注4)備考欄中、2010年入試の募集人員の変更については、セ試=センター試験、(以下、国公立大について)セ試免除=センター試験を課さない推薦・AO、セ試課す=センター試験を課す推薦・AO、前期=前期日程、後期=後期日程、の略。